【問題編】

1.変数tを宣言しその値を返せ。

2.変数x,yが数値である時、xに以下の一連の処理を行え。

・x＞yのとき、xからyを引く

・x≦yのとき、ｘにｙを足す

・xが0以上10以下のとき文字列”clear”を返す

3.alertを使って文字列”論プロ大好き”と表示する関数funcを定義しそれを呼び出せ。

4.変数nが数値である時、以下の一連の処理を行え。

・(i) nが奇数だったら3倍して1を足す

・(ii) nが偶数だったら2で割る

・上の(i),(ii)をnが1になるまで繰り返せ

5.フィボナッチ数列の第１項から第１００項を配列に格納し、第ｎ小項の値を返せ。

(ただしnは１≦n≦100を満たす整数とする)

5‘．問題4において変数nの範囲を1≦n≦10000とするとき、変数ｎが1になるまでの計算回数が最も多い自然数と、その回数を求めよ。

(解答が作れなかったためボツにしました)

【解答編】

1:

var t;

return t;

2:

if(!isNaN(x) && !isNaN(y)){

if(x>y) x = x-y;

else if(x<=y) x = x+y;

if(x>=0 && x<=10) return "clear";

}

3:

function func(){

alert("論プロ大好きです");

}

func();

4:

if(!isNaN(n)){

while(n!=1){

if(n%2 == 1) n = n\*3+1;

else if(n%2 == 0) n = n/2;

}

}

5:

var fibonacci = new Array(0,1);

for(i=2;i<100;i++){

fibonacci[i] = fibonacci[i-1] + fibonacci[i-2];

}